




# 食道内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)パス 入院診療計画書

GAY110

患者ID	主治医	病名	説明日
患者氏名	(性別) 担当医	管理栄養士	症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見
生年月日:	(年齢) 看護師	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(つかえ感・違和感)

月日	入院日～前日	手術前
患者目標	不安なく手術を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 	朝の薬は 時 分 に( )を 少量の水で内服します 9時頃から点滴をします 
検査	必要に応じて行います	
食事	常食(必要に応じて治療食)です 手術前日21時以降は食事を摂取することはできません 水分(水・お茶のみ)は摂取することができます	食事を摂取することができません 水分(水・お茶のみ)は摂取することができます
排泄	制限はありません	
清潔	シャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします)	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください	病棟内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します (状態によっては車椅子やベッドで移動します)
説明 (指導)	入院生活や手術について説明します 麻酔科医師から麻酔について説明があります 手術室看護師の訪問があります 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる際はスタッフに声をかけてください)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。 上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

消化器内科パス:

説明を受けた人: 続柄  
 (本人・家族) ( )




# 食道内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)パス 入院診療計画書

GAY110

患者氏名

(性別)

患者ID

月日	手術後	術後1日目
患者目標	手術後合併症を起こさない	
治療処置 (注射 内服)	自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します (装着時間は状態によって変わります) 点滴をした状態で帰室します(続けて点滴をします) 点滴から粘膜を保護する薬を投与します 痛みが強い時は痛み止めを投与します 	点滴をします 点滴から粘膜を保護する薬を投与します 
検査		血液検査とレントゲン撮影をします 内視鏡検査がある場合があります
食事	食事・水分を摂取することはできません	食事を摂取することはできません 医師指示で水分(水・お茶のみ)を摂取することができます
排泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します	尿の管を抜きます 尿の管を抜いた後は、制限はありません
清潔	翌朝まで手術着のままを観察していきます	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活動 (安静度)	翌朝の医師の許可が出るまではベッド上で安静となります	医師の診察後からは病棟内でお過ごしください (初回歩行時は、看護師が付き添いをします) 初回歩行後は、ふらつきなどがなければ1人で歩けます 歩行後、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます 
説明 (指導)	医師から手術結果の説明があります(当日お話できない場合もあります) 痛みが強い時や気持ちが悪い時など、異常を感じた時は看護師にすぐにお知らせください 手術後から翌日までナースステーション近くの個室に部屋を移動します	
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

消化器内科パス:

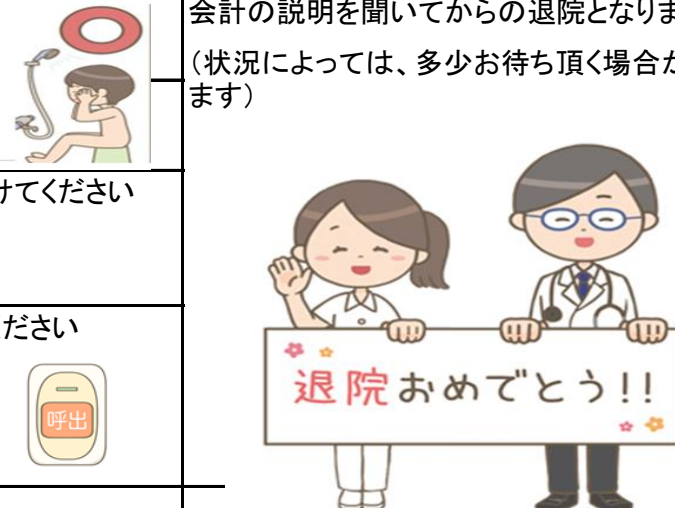
# 食道内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)パス 入院診療計画書

GAY110

患者氏名

(性別)

患者ID

月日	術後2日目	術後3～4日目	術後5日目	退院日
患者目標	手術後合併症を起こさない		日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる	
治療 処置 注射 (内服)	点滴をします		退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします(不在の場合には看護師からお渡しする場合があります)  ネームバンドを外します 体温計を回収します	
検査	必要時、血液検査をします (検査がある場合は前日にお知らせします)		退院後の過ごし方、次回外来について説明をします	
食事	流動食が開始となります	3食ずつ食事が変わっていきます (3分粥食→5分粥食→7分粥食)(退院日は全粥食となります)	次回外来予約票と診察券をお渡しします	
排泄	制限はありません		会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)	
清潔	食事開始後はシャワー浴ができます			
活動 (安静度)	病棟内でお過ごしください	制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください		
説明 (指導)	痛みが強い時や気持ちが悪く時など、異常を感じた時は看護師にすぐにお知らせください			
その他				

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

消化器内科パス: